

1/25 (金)、風和の里ふくろうホールにて、新春交歓会が行われました。法人設立30年日の節日の会に、内外より200名以上の参加者が集まりました。理事長挨拶、来賓挨拶に引き続き、バンドによる生演奏、抽選会、ジャンケンゲームで大いに盛り上がりましたが、一際会場を湧き立たせたのは、変面師「未来」と「藩彩華」さんによる変面ショーでした。変幻自在のパフォーマンスに一同酔いしれ、鳴りやむことの無い拍手喝采の嵐。盛況のうちに会は終了しました。※変面の様子は、3/10 (日)午前10時より、NBCの『新窓を開けて九州』において放送予定です。



職員紹介



松村 鮎美

インフルエンザ流行警報発令に伴う施設からのお願い

長崎県はインフルエンザ流行警報を発令し、手洗いなどの対策を徹底するよう呼びかけています。せいひ会の各施設におきましても、感染防止のために以下の面会制限の実施を行っております。

- 来苑時の手指の消毒とマスク着用。
  - 面会場所の制限（居室では面会できません）。
- 各事業所により、その他の制限を設けている場合もございます。ご理解とご協力をお願い致します。

2018年6月より、総務部にて勤務させていただいております。介護施設に勤務するのは10年ぶりで緊張の毎日ですが、面会のご家族様や来苑された方がホッとできるような笑顔を中心掛けて勤めていきたいと思っております。

随 ず っ と わ ば し

平成 29 年 9 月、熊本県球磨郡から、せいひ会介護老人保健施設元亀の里へ入職しました。熊本と同じ九州の長崎と言うことで、言葉や食べ物もそれほど変わりはないであろうと思っていました。ところが、入職してみると、解らない言葉「方言」がチラホラ...。「おっちゃんけん」ん? 「てんげ」? 「しわえんと〜」ん? 何それ〜?? 何の事か全く解らず何度も入所者の方へ聞き返し、それでも解らない時は職員に言葉の意味を聞く事もありました。以前住んでいた、熊本の球磨郡は熊本でも特に言葉が荒く独特で「球磨弁」と言われる方言です。「もぞらしか

せいひ会の職員が思うがままをリレー式に綴るコーナー。今月元亀の里の吉鶴孝子さんです。

〜」「こけけ〜」「じゃっじゃっ」「むしゃんよか」などなど。球磨郡は、先日社員旅行で訪れた鹿児島に近い地域で、鹿児島弁に近い方言も含まれている場合もあります。同じ九州ですが、言葉「方言」が違うことがとても面白く感じています。今までは方言は出来るだけ出さない様にと心がけていました、今回、言葉「方言」を考え、言葉をきっかけに皆様に親近感のある職員になっていきたいと思えます。※球磨弁がラインスタンプでもあるので興味のある方は探してみてください。中には思わず「クスッ」と笑える方言がありますよ。



せいひ会だより

2019年(平成30年)  
2月1日発行  
<第226号>  
社会福祉法人せいひ会  
http://www.seihikai.jp/



平成最後のお正月。皆さんのように過ごされましたか? せいひ会のお正月は、成長の家に初詣に行き、家族の幸せを願った方や、体が温まる甘酒にホッとした方、ほんのちょっとのお屠蘇でほろ酔い気分の方、手形を取り、1年の抱負に「美味しいものをいっぱい食べたい」と書いた方、久しぶりの毛筆にたっぷり墨を含ませて真剣に書初めをされる方、おせち料理に出た久しぶりのお刺身を噛みしめて召し上がる方、福笑いで楽しく「笑い初め」を楽しむ方、挙げてみるときりがありません。今年も元気に楽しく過ごしていただきたいです。

1月の行事

1日	正月イベント	(GH)
1・2日	初詣	(通介)
2・3日	初詣	(風和の里)
9日	誕生日会	(通介)
11日	鏡開き	(GH)

2月の行事予定

2日	節分	(通介/じゅげむ)
3日	節分	(GH/風和/寿限無)
8日	誕生会	(通介)
15日	運営推進会議	(GH)
27日	避難訓練	(寿限無)



県内でインフルエンザが流行しています。(詳しくは4面で)





2019

松江 恵美子様

渋谷 アケミ様

寿限無 共同作品

沼田 輝子様

秋浦 克敏様

山田 清美様

**LIFE IS A WORK OF ART**

今月の作品紹介です。

通所介護  
三枝 和枝様

パーステイインタビュー

通所介護 共同作品

荒瀬 美智子様

西彼町中山郷に6人兄弟の5番目として生まれました。幼いころは、長男次男が軍隊に行っていたため、兄弟とはほとんど遊ぶことはなく、家が農家だった為、芋さし、田植えの作業を時々手伝っていたそうです。亀岳尋常高等小学校を卒業（現在の中学三年生）と同時に、郵便局に5年勤め、集配や保険の集金係をしていました。その当時は布団の布を解いて、縞の着物を作り、帯を締め、わら草履をはいて仕事をし、その草履は一日しか持たなかったそうです。同じ集落のご主人の家から兄が嫁を取り、その後、ご主人の家に嫁がれ、結婚後は慣れない農作業で要領がわからず、きつかったと話されます。後に肉牛10頭を飼育し、徐々に増やし、一番多い時で100頭飼育していました。朝は5時頃起きて餌やりを行い、長与・時津まで牛のエサ（ワラ）を買い付けに行っていたそうです。3人の子供を育てあげ、皆近所に住んでいるので、時々訪ねてられるとのこと。昨年はご主人とかわいがっていた犬を亡くし、落ち込む日々を過ごされていましたが、デイサービスに行くようになってからは、同級生3人に会えるのが楽しみで、「やっぱりここに来んば」と話され、時には職員と冗談を言い合いながら、笑顔も出るようになりました。